

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 横須賀市立野比小学校

① 学習指導案

令和5年度(2023年度) (野比小) 学校 第6学年

「総合的な学習の時間」年間指導計画

担当者 大橋幸史朗 加藤良佑

単元名	
〇〇×YOKOSUKA	
単元目標	
<ul style="list-style-type: none"> 「横須賀市の目指す教育の姿」の一つである「横須賀が好きと誇れる人づくり」について課題をもち、横須賀市の魅力を調べたり伝えたりする。 横須賀市の伝統を守ったり新たな魅力をつくりたりする人々の思いに気付き、自分にできることを実践して地域を大切にしようとする。 	
単元で育てたい資質・能力	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 横須賀市には、誇るべき伝統文化や新たな魅力が無数にあることが分かる。 横須賀市の伝統文化や魅力を伝える取組の必要性や、それらを支え伝えようとする方々の思いに気付き、知られざる魅力を広めるための活動を目的や対象に応じて適切な方法を選択して実施することができる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 横須賀市の伝統文化や魅力を伝えようとする方々と直接関わり、伝承のための解決すべき課題に気付き、その解決方法を考え、解決の見通しをもつことができる。 見学やインタビュー、アンケート調査などの方法で、横須賀市の魅力に関する情報や自分たちの活動への感想などを集め、必要な情報に応じて、手段を選択して情報を蓄積することができる。 集めた情報から課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら、情報を整理して考えることができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が「横須賀が好き」と誇れるようになるための活動に粘り強く取り組み、仲間の意見を受け止めながら協働しようとする。 横須賀市への愛着が深まったことなど、自分の成長を自覚し、地域の一員として地域のためにできることを考え進んで取り組もうとする。
単元の概要(児童生徒の実態、教材の価値、中核となる学習活動等)	
<p>児童は、ここ数年のコロナ禍により、校外学習や地域の方とのふれあいの機会が制限されたまま今日に至っている。また、放課後や休日の過ごし方を求めた際には、限られた範囲での活動に留まっている場合や、家族と市外や県外に出かけたりする機会が多くなっていることが分かった。このことから、郷土に密着した教育活動の重要性が高まっていると考える。</p> <p>本単元の中核となる活動は、横須賀市の魅力(人・文化・施設等)の探究である。自ら横須賀市の魅力を調べるインプットの活動と、知り得たことを周囲に発信するアウトプットの活動を数回繰り返し、質を向上させていくことを想定している。インプットは、実地調査やゲストを招いた授業を計画し、アウトプットについても、より広い範囲への発信方法を模索していく。</p>	

単元の展開															
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
小単元名・主要学習活動・予定時数等	オリエンテーション	横須賀中央風物見地調査 英語インタビュー	横須賀の魅力を伝える人々 私たちが〇〇×横須賀	個人または小人数で行う 探究活動を継続	みんなが調べる〇〇×横須賀	人×横須賀 文化×横須賀	施設×横須賀 ダンス×横須賀(仮)	博物館×横須賀(仮) 音楽×横須賀(仮)	スポーツ×横須賀(仮) 美術×横須賀(仮)	展示の方法を考えよう 展示会準備(仮)	展示会(仮)				
	横須賀の何が好き? 20h			横須賀のここが好き! 30h			横須賀の魅力を伝えよう! 20h								
各教科等との関連・外部の学習資源の活用・異年齢との連携や交流等	<ul style="list-style-type: none"> ◎国語「地域の施設」 ◎社会「横須賀平和中央公園」 ◎外国語「英語でインタビュー」 ★横須賀市広報企画部 ★「Restoring World Cup」実行委員 			<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」 ★虎踊りを伝える地域の方 ★「Restoring World Cup」 			<ul style="list-style-type: none"> ◎理科「野比海岸の地層」 ◎体育(運動会)「表現運動」 			<ul style="list-style-type: none"> ★横須賀芸術館学芸員 ★「Restoring World Cup」出展選手 ★ヨコスカジャズ協会 ★自然・人文博物館学芸員 ◎園工・音楽「鑑賞」 ◎社会「歴史」 ◎理科「野比海岸の地層」 ◎体育(運動会)「表現運動」 					

② 事業実施報告書詳細

学校名 横須賀市立野比小学校

単元の実践記録			
時期 時数	学習活動	指導上の留意点(教材の工夫・外部人材の活用等) ○各教科等との関連	児童生徒の学習状況【評価の観点】(方法)
【前期】 時数 50h	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・街頭インタビュー ・横須賀中央周辺実地調査 ・私が好きな○○×横須賀(個人活動) ・みんなで調べる○○×横須賀(グループ活動) ・美術×横須賀 ・スポーツ×横須賀(ウインドサーフィン・マリノスサッカー教室等) ・運動会×横須賀(児童虎踊り継承委員会発足)等 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの主体性を引き出すために、教師主導で活動を提案しないよう努めた。その際、なるべく自由度のある趣旨説明を行い、詳細な活動は児童に企画させるようにした。 ○道徳「伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度」 ○外国語「英語でインタビュー」 ○社会「横須賀平和中央公園」 ○国語「地域の施設」 ○図工・音楽「鑑賞」 ○社会「歴史」 ○理科「野比海岸の地層」 ○体育(運動会)「表現運動」 	<ul style="list-style-type: none"> ★知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市の魅力が分かった。 ・横須賀市の伝統文化や魅力を伝える取組の必要性や、それらを支え伝えようとする方々の思いに気付いた。(行動観察・記録分析) ★思考力, 判断力, 表現力等 <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市の伝統文化や魅力を伝承する際の課題に気づき、その解決方法を考え、解決の見通しをもった。(行動観察・記録分析)
【後期】 時数 20h	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会準備(京急沿線ジオラマ / 横須賀観光プロモーションムービー上映 / ミナミルケ顔出しパネルゲーム体験コーナー / 図書閲覧スペース / ガチャガチャ / 魅力発信カード掲示板等) ・展示会(横須賀市文化会館にて、2日間開催) ・卒業記念講演(小説家・漫画家 折原みと先生) 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員は、本学習を通して子ども達が主体的に活動の見直しをもち、活動を充実させるために思案していく姿を表出させるよう努めた。 ●ゲストティーチャー等、アウトソーシングを依頼する際は、担任による正式な手続きの元、先方から承諾を得たが、さらに代表児童からも依頼の電話をするようにした。 ●学習の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・校内に情報発信のための広大なスペース ・児童同士がいつでも情報交換ができるネット環境(総合的な学習の時間専用 google クラスルーム) <p>※本活動に関わる費用については、一般財団法人 都市文化振興財団「景観まちづくり学習助成事業」よりいただいた助成金を運用し、児童の思いに寄り添った活動を支援することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ・知られざる魅力を広めるための活動を目的や対象に応じて適切な方法を選択して実施した。(行動観察・記録分析) ★思考力, 判断力, 表現力等 <ul style="list-style-type: none"> ・見学やインタビュー、アンケート調査などの方法で、横須賀市の魅力に関する情報や自分たちの活動への感想などを集め、必要な情報に応じて、手段を選択して情報を蓄積した。 ・集めた情報から課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら、情報を整理して考えた。(行動観察・記録分析・作品) ★学びに向かう力, 人間性等 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が「横須賀が好き」と誇れるようになるための活動に粘り強く取り組み、仲間の意見を受け止めながら協働した。 ・横須賀市への愛着が深まったことなど、自分の成長を自覚し、地域の一員として地域のためにできることを考え進んで取り組んだ。(行動観察・記録分析)

<活動の概要>

児童は、ここ数年のコロナ禍により、校外学習や地域の方とのふれあいの機会が制限されたまま今日に至っている。また、放課後や休日の過ごし方を尋ねた際には、限られた範囲での活動に留まっている場合や、家族と市外や県外に出かけたりする機会が多くなっていることが分かった。このことから、郷土に密着した教育活動の重要性が高まっていると考える。

本単元の中核となる活動は、横須賀市の魅力（人・文化・施設 等）の探究である。自ら横須賀市の魅力を調べるインプットの活動と、知り得たことを周囲に発信するアウトプットの活動を数回繰り返し、質を向上させていくことを想定している。インプットは、実地調査やゲストを招いた授業を計画し、アウトプットについても、より広い範囲への発信方法を模索していく。（→学校を飛び出し、横須賀市文化会館へ！）。

<きっかけ>

月刊「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり」（2023/3/1 横須賀市教育委員会）に掲載されていた、『よく、「私は横須賀が好きです」と言われるのですが、「何が好きなのですか」と具体的にお尋ねすると、お困りになられる方が多くいらっしゃいます。』という市長の言葉をきっかけに、子ども達は「横須賀の魅力発信」を使命とした活動を開始した。

<展開の工夫>

教員は、本学習を通して子ども達が主体的に活動の見通しをもち、活動を充実させるために思索していく姿を表出させるよう努めた。具体的には、「実際に博物館に行きたい」「実際にインタビュー調査がしたい」「横須賀の魅力を発信するプロと話してみたい」「横須賀の象徴的なスポーツを体験してみたい」という発言を引き出すことができた。ゲストティーチャー等、アウトソーシングを依頼する際は、担任による正式な手続きの元、先方から承諾を得たが、さらに代表児童からも依頼の電話をするようにした。承諾を得た際の子どもたちの安心した笑顔や激しいガッツポーズからは、達成感を感じていることが伝わってきた。

また、学習の環境整備にも取り組んだ。例えば、校内に情報発信のための広大なスペースを用意したり、児童同士がいつでも情報交換ができるネット環境（総合的な学習の時間専用 google クラスルーム）を整えたりしました。後に、同様の志のもと活動している望洋小学校5年生の存在を知った際は、合同の google クラスルームを作成し、活発に情報交換ができるようにした。

本活動に関わる費用については、一般財団法人 都市文化振興財団「景観まちづくり学習助成事業」よりいただいた助成金を運用し、児童の想いに寄り添った活動を支援することができた。

<成果物>（展示会展示作品）

横須賀観光プロモーションムービー / ウインドサーフィン機材 及び W 杯出場選手着用ユニフォーム / トウキョウサンショウウオ生体 / ミナミルク（学校給食用牛乳）デザイン

ン顔出しパネル / プラレールを使用した京急沿線ジオラマ / 横須賀の魅力が詰まった
 児童作成オリジナルゲーム / 横須賀関連図書閲覧スペース / 横須賀名物キーホルダー
 / 横須賀魅力発信カード掲示 等

<協力を得た専門機関・団体>

一般財団法人都市文化振興財団/横須賀市経営企画部広報課/横須賀市文化スポーツ観光
 部観光課/中町町内会虎踊り保存会/(株)協同牛乳/NPO 津久井浜マリンスポーツ連盟/県
 立横須賀高等学校科学部 等

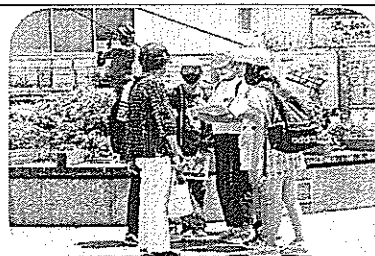
<活動の様子>



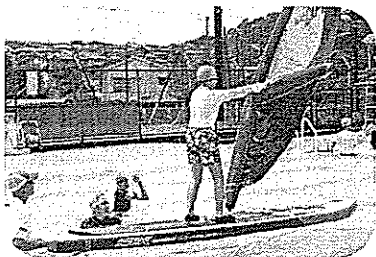
横須賀市経営企画部広報課「広
 報YOKOSUKA」担当者とのオ
 ンラインミーティング。



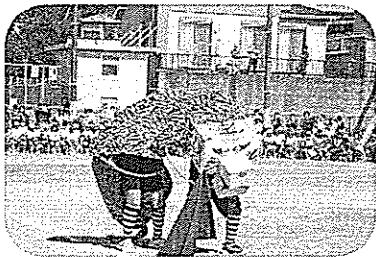
「虎踊り継承委員会」を発足し、
 地域に伝わる「虎踊り」を調査。



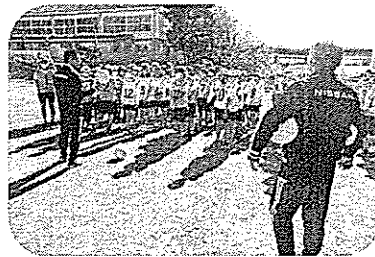
横須賀の中心地で街頭インタビ
 ュー。「横須賀は好きです
 か？」



学校プールでウィンドサーフィ
 ン体験会。講師にはW杯出場選
 手も含まれていた。



運動会の表現運動の場に、地域
 に伝わる「虎踊り」の虎が登場。



横須賀に新たなメイン練習場を
 オープンした横浜 F・マリノス
 によるサッカー教室。



展示物作成の様子①
 来場記念キーホルダーがもらえ
 るガチャガチャコーナー。



展示物作成の様子②
 プラレールを使用した京急沿線
 ジオラマ。

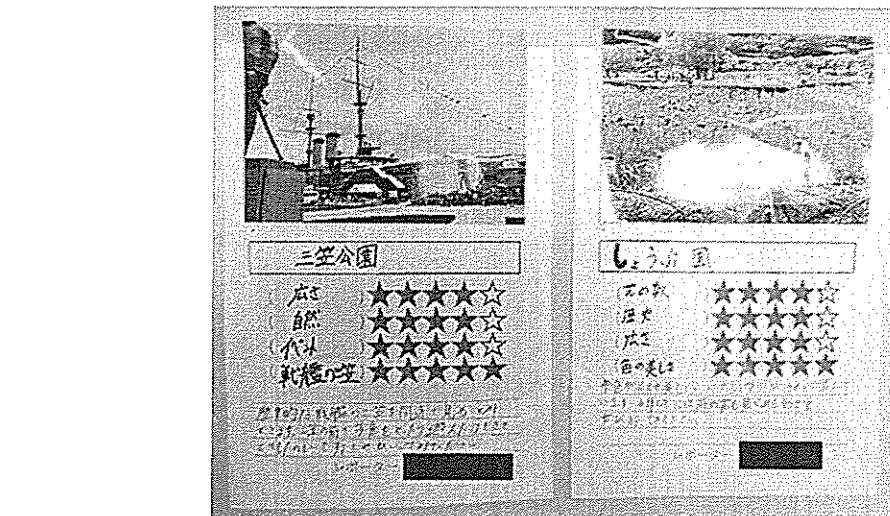
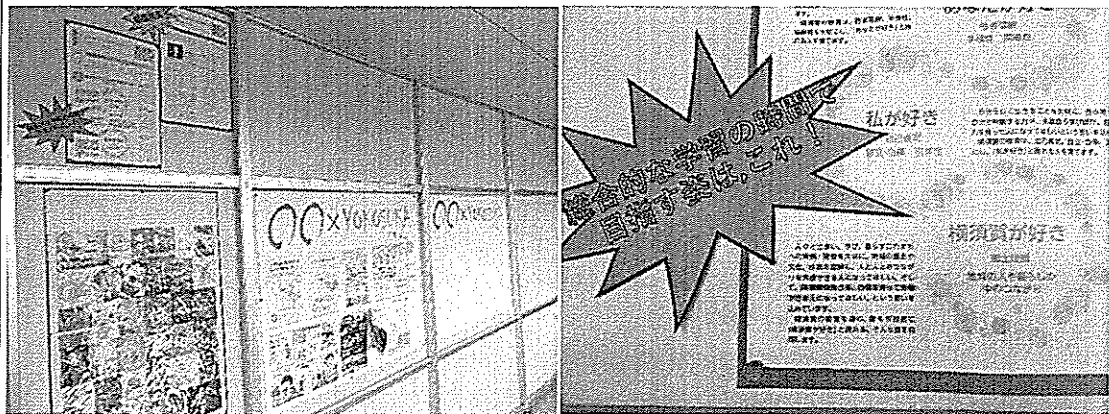


展示物作成の様子③
 ミナミルク(学校給食用牛乳)デ
 ザイン顔出しパネル。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

本学習を通し、子ども達が主体的に活動の見通しをもち、活動を充実させるために思索していく姿を表出させるよう努めた。具体的には、「実際に博物館に行きたい」「実際にインタビュー調査がしたい」「横須賀の魅力を発信するプロと話してみたい」という発言を児童から引き出すことができた。横須賀市経営企画部広報課の方には正式な手続きの元、ゲストティーチャーの承諾を得ていたが、さらに児童から依頼の電話をさせた。また、校内に景観まちづくり学習に繋がる情報を掲示するための広大なスペースを用意したり、校内にいる場合に児童同士がいつでも情報交換ができるネット環境（総合的な学習の時間専用googleクラスルーム）を整えたりした。



(2) 実施にあたり苦労した点

あまり苦労は感じなかった。

あえて挙げるならば、新しい取り組みであるため、ゲストティーチャーの依頼文、校外学習の企画書等、事務的な提出資料を一から作らなければならなかった点に苦労した。児童の自発的な企画を大切にしたい結果、本来であれば何か月も前から準備する規模の企画を短時間で調整していく必要があった。

(3) 児童の反応

「実施調査」や「ゲストティーチャーを招いた授業」、そして「展示会」では、自分達で活動を企画していることを喜ぶ様子があった。

3月の調査では、本取り組みを通して児童自身が最も発揮することができた力として、「他者と協働する力」「あきらめず頑張り抜く力」「問題を見出し解決する力」が挙げられた。

また、育てることができた心として、「横須賀への愛情・愛着を大切に、横須賀の良さを自信をもって発信したいと思う心」と答えた児童は、55.4%であった。

自由記述では、以下のようなふりかえりがあった。

- ✓ これからも横須賀のいいところをどんどん色んな人にも発信していきたいなど改めて思いました！
- ✓ 横須賀に住む人たちや、それ以外に住む人たちに横須賀の魅力が伝わればいいと思います。みんなで大体一年間くらいかけて作った展示会が成功して本当に良かったなと思います。
- ✓ 横須賀のどこが好きですかと聞かれても困らなくなりました！
- ✓ 最初はこんなに大きな規模になるなんて予想がつかなかったけど、やっていくうちにどんどんアイデアが出てきて、どんどん物事が進んでいってドキドキが止まらなかった！
- ✓ 6年間の総合で一番楽しかった。
※総合的な学習の時間は3年生より実施するので、実際は4年間

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

担任にとっても、景観や景観まちづくりがどのようなものであり、いかに大切なものであるかを学ぶ機会となった。特に、景観まちづくりに対して高い意識をもった子どもを育てることが、私たち教育者の役割であると認識することができた。

また、本活動の成果物を校内の広いスペースに掲示したり、展示会へ招待したりしたため、他の教職員からも興味や賞賛の声が届いた。

(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]

子どもの自由な発想を教員側が押さえ込んでしまう原因のひとつが費用による縛りであると考えます。本助成事業の力をお借りし、子どもたちにとって小学校生活最後となる総合的な学習の時間をより自由でより充実したものにするのができた。

しかし、費用を充実させることだけが児童の思考に寄り添う方法ではない。授業時数の制限や人的余裕の無さ、私達教員の指導経験不足等、様々な解決すべき課題がある。これらを克服し、活動を充実させるために、カリキュラムマネジメントや効果的なアウトソーシングの活用に取り組みたいと考える。